

1 題材名 Program 2 「Volcanoes in Japan」 Sunshine English Course 3

2 題材について

(1) 題材観

① コミュニケーションの観点から

一瞬に世界中でリアルタイムに情報を共有でき、インターネット等を通じて誰とでもコミュニケーションをとることが可能となっている。このような国際社会の中で、自分の国について深く知り、また様々なことに関する自分の意見をしっかりと持ち、それらを表現しあい、お互いを理解し合えることが重要となっている。本題材では、日本の風土や世界遺産にふれる。その中で日本の国の素晴らしさを知り、自国を誇りに思い、他にその良さを伝えようと発信していける基礎作りをしていきたい。そのために、聞く、話す、読む、書くという4技能をバランスよく取り入れつつ、特に音読指導や様々な言語活動を工夫しながらコミュニケーション能力を育てていきたいと考えている。

② 言語材料の観点から

本題材では、現在完了形の継続、経験の用法について学ぶ。現在完了形が過去と現在の状況を伝えるという特性は、生徒にとってなかなか理解しづらいと思われる。そこで、身近な事柄を例に挙げながら理解できるようにしたい。さらに理解した基本の文構造をパターンプラクティスやディクテーションなどくり返し行うことで定着を図り、自分自身や身近な人や地域、さらには日本の良さについて表現できる楽しさを味わいつつ、自己表現力を高めていきたい。

③ 国際理解の観点から

本題材は、活火山を有する5, 60万人規模の都市を持つ日本独特の風土について学ぶ。また、日本の世界遺産についても学び、日本が素晴らしい自然や歴史を持っている国であることを知る。自分の国について知り、大切に思う心は、他国への興味、理解を深めていくことにつながっていく。それぞれの国の良さを知ること、違いを認め、尊敬し合っていく心が生まれ、それぞれの国、人々がすべて地球の一部であるという共同体の意識が育ち、平和をつくりだしていこうとする心を育てていきたい。そのためにはまず、身近な人々との関わりから始まっていくと考える。日常生活の中で、他者理解や自己理解を深めていくことで、思いやりの心が育ち、自分や周りの人を大切にしていけることができ、そこからさらに少しずつ視野を広げていってほしいと願う。そのためには、授業の中での様々な活動で生徒一人ひとりを大切に、自己重要感を育てていきたい。

生徒たちは修学旅行で京都や奈良が、世界の人々から愛されているという事実を目の当たりにするという経験からも、国際理解への第一歩となってほしいと願う。

(2) 指導内容の系統

1 年 生		
・ 現在形を理解する。	be 動詞 一般動詞	He is a teacher. I live in Mobara.
・ 過去形を理解する。	一般動詞 (規則動詞) 一般動詞 (不規則動詞)	I lived in Mobara ten years ago. I went to school by bike yesterday.



2 年 生		
・ 過去形を理解する。	be 動詞	I was busy yesterday.
・ 未来形を理解する。		I'm going to play tennis with my friend tomorrow. I will answer the phone.



3 年 生		
・ 現在完了形の3つの用法を理解する。	完了 継続 経験	I've just finished my homework. I have lived in Mobara for 15 years. I have visited Kyoto once. I have never been to Hokkaido.

3 生徒の実態について (32名)

(1) 生徒の実態

本学級の生徒は、穏やかな生徒が多く、ワークなどの課題に熱心に取り組むことができる。その反面、声を出す活動は消極的な生徒が多くみられる。また、基本的な学習習慣や基礎・基本の定着につ

いて、努力を要する生徒が見られる。そこで、授業の中で、音読、歌やチャンツ、Small Talk など声を少しでも大きく出せるように、根気強く励ましつつ支援していきたい。また、基礎についてはスモールステップを大切にしつつ、くり返しの学習を積み重ねていきたい。

(2) 題材に関わる実態

本題材の指導にあたり、現在形、過去形、日本の世界遺産等について調査を行った。
 ・調査結果 調査人数：28名 調査実施日：4月24日

問	題	解	答
1	日本語にあう英文を完成させなさい。 ア私は今、茂原に住んでいます。 イ私は去年京都に住んでいました。	ア正解 21名 不正解 5名 無回答 2名 不正解：visit stay rive am have イ正解 20名 不正解 3名 無回答 5名 不正解：visited staed live	
2	日本には世界遺産がありますが、知っているものをすべて書きなさい。	首里城 二条城 石見銀山 小笠原諸島 原爆ドーム 東寺 金閣寺 清水寺 銀閣寺など 古都京都 法隆寺など 古都奈良 白川郷 姫路城 厳島神社 白神山地 日光東照宮 屋久島 中尊寺 知床 大阪城 (×富士山)	
3	日本のよいところを外国の人に伝えらしたらどんなことを伝えたいですか。	食べ物おいしい まじめ 礼儀正しい マナーが良い 謙虚 知らない人にも親切 世界遺産がある 自然が美しい 電車など時間が正確 アニメ・マンガが有名 犯罪が少ない 日本人の技術は素晴らしい など	

・考察

問題1は、現在形と過去形についての確認である。約3分の2の生徒は理解できていることがわかる。しかし、live という単語を理解していない生徒、また時を表す語句の確認が必要な生徒も見られるので、現在完了形を導入する際に現在形や過去形の復習を踏まえながら行いたい。不規則動詞の過去分詞形も表現に使われる単語を中心に定着を図りたい。問題2は、日本の世界遺産についての確認であるが、多くの生徒がよく知っていることがわかる。これらのことを英語で読み、また説明することは生徒にとっても自信につながると思われる。しかし、内容は難しいので、苦手意識のある生徒にとっても、ポイントを絞りつつスモールステップを踏んで、取り組みやすくできるような工夫をしていきたい。問題3は、日本の良さをどの程度知っているのかを確認した。生徒は日本の良さを理解できている。更にこの学習を通して、自国の良さを再確認させたい。

4 題材の目標

- (1) 現在完了形の継続、経験の用法を用いて、積極的にコミュニケーション活動に参加しようとする。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) 現在完了形の継続、経験の用法を用いた文を理解し、それを用いてペアで自己表現しあうことができる。
(外国語理解の能力) (外国語表現の能力)
- (3) 日本の世界遺産についての理解を深めるとともに、現在完了形のもつ意味の特性を正しく理解し運用することができる。
(言語・文化についての知識・理解)

5 指導計画 (9時間扱い 本時は4時間目)

時間	学習内容	支援及び指導上の留意点	評価規準 (観点)
1	現在完了形の継続の導入	キーワード for, since をしっかり理解できるように例文を比較し定着を図る。	継続の用法を理解し表現できる。 (表現, 理解)
2	セクション1の Reading と内容理解	ペアで音読練習を行う。協力しながらコミュニケーション活動に取り組みさせる。	内容を理解し気持ちを込めて読むことができる。 (表現, 理解)
1 (本時)	現在完了形の経験の導入	チャンツを用いてリズムで慣れさせる。キーワード once, before, everなどを意識させながら、経験の用法に慣れさせる。	キーワードを使ってペアでコミュニケーションを図ることができる。 (表現)
2	セクション2の Reading と内容理解	have visited, have been to ~の表現に慣れる。本文の音読を通して手紙の書き方にもふれるようにする。	本文を通して、手紙の書き方や桜島について理解することができる。 (理解)
1	セクション3の Reading と内容理解	日本の活火山についての本文を読み、日本独特の風土であることに気づかせる。	日本の風土を理解し、音読することができる。(理解)
2	セクション3の世界遺産についての Reading および説明文作成と発表	日本の世界遺産の説明文を読み取り、それを参考にして説明文作成に抵抗感なく取り組めるようにポイントをしめす。	日本の世界遺産についての説明文を書き発表することができる。 (表現)

6 本時の指導

(1) 目標

現在完了形の経験の用法を理解し、それをを用いて自己表現ができる。 (外国語理解の能力)

(2) 展開

学習活動と内容	時配 形態	指導上の留意点	評価(方法)
1 英語であいさつをする。 "Top of the World"を歌う。	7分 一斉	○ 明るいあいさつをし、英語学習に取り組む雰囲気を作る。	
2 ペアで Small Talk を行う。 S1:Do you have any hobbies? S2:Yes. I'm into making a cake. S1:That's nice. S2:Do you have any hobbies? S1:I'm so into karate. 等	ペア	○ 日常会話に使われる簡単な表現を紹介しつつ英語を楽しめる雰囲気大切に。 (例: be into ~にはまっている) ○ 話すことに抵抗感のある生徒にも取り組みやすいよう無理せず少しずつ慣れていくようにする。	
3 前時に学習した現在完了形の継続の英文をペアで瞬間英作文する。 He has lived in Japan for two years. I have lived in Mobara since 1999. How long have you played soccer? 等 その後 dictation test を行う。	7分 一斉 ↓ ペア 個別	○ キーワードに意識してスムーズに言えるよう、全体で練習してから行う。 ○ 英文を正しく書けていない場合は、もう一度正しく書いて確認する。	
4 現在完了形の経験の質問文を聞く。(イントロクイズを行う。) Have you ever heard this song? Jazz Chants を聞く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">"Have you ever had a hotdog?"</div>	8分 一斉	○ 次に聞く Jazz Chants の英文が自然に聞き取れるよう、英文で質問する。 ○ 現在完了形の経験の文を正しく聞き取り意味に気づけるようくり返し聞き、英文を書き取る。 ○ 意味を推測できないときには ever の意味を確認することから導き、例文も与えて理解を助ける。 ○ リズムに乗り歌うことで自然に耳に慣れさせるようにする。	○ 現在完了形の経験の用法を聞き取り意味を推測できたか。(観察, 発表)
5 Pattern Practice を行う。 I have visited Tokyo once. I have been to Kyoto twice. I have had (eaten) yuba before. I've never seen Arashi. I've climbed Mt. Fuji many times. Have you ever heard this song?	8分 一斉 ↓ 個別	○ ever, once, twice, ~ times, before never のキーワードを理解し口頭練習を十分にする。 ○ 「行ったことがある」という表現では gone to ではなく been to になることを説明し、理解できるようにする。 ○ よく使う動詞の過去分詞形を確認しながら練習する。	
6 インタビュー活動を行う。 S1: Hi, Taichi. S2: Hi, Nao. You look happy. S1: I'm planning to visit Kyoto. Have you ever been to Kyoto? S2: Yes. I've been there once. S1: Oh, really? I've never been to Kyoto.	10分 ペア	○ 例文を使って十分口頭練習し、全員が自信をもってインタビューできるようにする。 ○ キーワードを確認し使えるよう意識させる。 ○ 困っている生徒には、助け合いながら活動ができるように促す。 ○ インタビュー後の情報を英文で書くことで理解をより確かなものにする。 ○ 発表者には賞賛の拍手を送れる雰囲気を作る。	○ 協力して会話を続けて話そうとしているか。(観察, 発表) (インタビューシート)
7 板書をノートにまとめ、自分の経験についてノートに書く。(場所, 食べ物, など)	10分 個別	○ 例文を示し理解を助ける。 ○ 机間指導をしながら、文の構造が理解できていない生徒には個別に指導を行う。 ○ 3文程度書き、発表を行う。	○ 現在完了形の経験を正しく使い、自分の経験を書くことができたか。(ノート, 発表)

